

新南陽市指定民俗文化財としての

「山崎八幡宮本山神事及び山車」の概要

会員 田中賢一

一、本山神事

本山神事は、「毛利家記録」(『昇格願書』)によれば、江戸期徳川綱吉時代の元禄十五年(一七〇二)五月、徳山藩三代藩主毛利元次が、近年徳山領内で農産物が虫害により不作が続いたため、山崎八幡宮(荘寺八幡宮)に五穀(米・麦・粟・豆・黍又は稗など五種の穀物)豊穰を祈願するため、総延長約五〇〇メートル(二七〇間)幅約一三メートル(七間)の馬場(流鏑馬用)を開設して、その両側に松・杉合わせて二〇〇本を植えさせ、その年の秋季例祭(旧暦八月十一日)から、祈願神事として本山ならびに二つの鉾山(爺婆山)を奉納したのに始まるという。

そのほかにも例祭の前日には、連歌の奉納が行われた。延宝八年(一六八〇)から明治五年(一八七二)までに奉納された連歌懐紙六二張(近世中期のものは欠落)・付重硯一式(外箱一、一〇、水入七)(市指定文化財)等ともが現存しており、明治六年(一八七三)から同二三年(一八九〇)までは俳諧を、それ以後は和歌百首の奉納が例となった。

さらに神事の一つに流鏑馬「騎射の一種。馬上で矢継早に射る練習として、馳せながら鏑矢かざやでの射る射技。的は方板ひたかを串に挿さんで三所に立て一人おのおの三的(みつまと)を射る。平安時代末期から鎌倉時代に武士の間で盛行。現在では、神社などで儀式として奉

行。』がある。その起源は定かでないが、嘉永六年（一八四八）から文久三年（一八六三）にいたる『騎射映物射手日記』という神事記録が伝存している。

こういう神事が現在まで伝承されていたら、山崎八幡宮の特殊神事が、一層厚さを増し民俗文化財として極めて高い評価を受けることができたと考えられる。

さて、通常日本の神社の春祭りは、五穀豊穡の祈念祭で、秋祭りは新穀を神前に供えて神に感謝する祭りであるが、この本山神事は秋に新穀が実った後に発生する自然災害（風水害・鳥虫害など）を鎮め五穀豊穡を神に祈願するための『予祝神事』（農産物などの豊穡を神に祈願して、あらかじめ模擬する神事）で、三〇〇年の歴史を誇る県内でも珍しい民俗文化財であり、地域住民の素朴な信仰心に支えられて現在に至っている。今後も、関係者・地域社会・行政が一体となって保存・伝承に努めなくてはならないと思う。

この本山神事は、例祭一〇日前の八朔はつさく（旧八月一日）

に神事始祭りが行われ、羯鼓かんど（神子）の稚児二人（七・五・三歳の男子の中から選出）が社参してお払いを受け祭礼の無事を祈り、関係者も例祭当日まで精進潔斎（神事の前に、酒や肉食などを謹み、沐浴をするなどして心身を清めること）をして神事にあたる。

二、山車

本山の山車は、釘などの金具類は一切使用せず、約四五〇キログラムのカズラで丸太（杉・桧・松など）を結んで造り、車輪は松の輪切りを使うなど、古来のしきたりを重んじた建築方法で組み立てられる。

本山の舞台は、幅・奥行ともに約二、七メートルの正方形に近く、高さ一、六メートル、舞台から屋根の高さは二メートルである。舞台の前方部の屋根は、竹で平坦にしてあるが、後方は、松の木を半円に曲げて天井にしている。中央には大きな松の木（御神松）を立て御幣を飾る。周囲には幔幕がめぐらしてある。

本山の乗組員は一〇人で、町の東西から五人あて出

る。舞台（一人）、台振り（二人）、太鼓・鼓・笛（六人）、指揮者（一人）である。

三、爺婆山（鉾山）

鉾山の組み立ては、本山と同様で、本山を小型化したもので舞台等はなく、周囲に幔幕をめぐらした装飾も簡易で、乗組員もない。ただし、人形二体に爺婆の翁の面をかぶらせ、頭に鉢巻きをして着物を着せ、中央に座らせ、手にはそれぞれ「がんぜき」と「ほうき」を持った尾上の爺婆を形どつたもので、長寿を祈願し祝う山車である。

この山は本山の前を引き、ともに神社の坂を引き上げて御神幸の儀式を行う。その後爺婆山・本山を境内の坂から突き落とし、山車の傾き具合で富田の東西の豊凶を占う。また本山の御神松の御幣（鉾留）を取るに運がよいとされ、若者が競い合う。

『八か国分限帳』によれば、山崎八幡宮は社領として六〇石八斗六升五合を領した。徳山藩創設後は社領

は六石と、十分の一に減じたが、歴代藩主の崇敬が厚く、社殿の造営、祭祀にかかる諸経費は、すべて藩府から支弁せられた。また、毎年の例祭には藩主ならびに寺社奉行等が社参のうえ祭式を挙行し、藩主自ら社参ができないときは名代を立てられるのが例であったという。

こうした為政者の厚い信仰心によって護られた神事で、明治・大正・昭和という激動の時代を経て、山崎八幡宮では行政や有識者から指導・助言を受け、本山保存会を中心に、地域社会と一体となり古風を残す伝統ある神事を、年毎に盛り上げていく真摯な取り組みの姿勢がうかがえ心強く思う。

参考文献 新南陽市史（転載部分あり）